評価指標の考え方(ロジックモデル)

評価指標の考え方(ロジックモデル)					
アクション		アウトカム(初期)	アウトカム(中長期)	インパクト	
【基本施策 1】ふれる 誰もが気軽に身近なところで文 化芸術に触れ、喜びと感動を享 受できるまちづくり	・子どもから大人まで楽しめる機会の拡充 ・年齢・性別・国籍・ライフスタイルの違い、障害の有無などにとらわれない取組の推進 ・文化活動を担う様々な主体や、文化芸術を支える人が活動を行いやすい環境の整備 ・時代に応じた既存施設の機能強化 ・文化施設以外のまちなかでの展開 ・必要な人に必要な情報が届くような情報発信の実施(広報紙などの紙媒体・ホームページ、SNSなどのウェブ媒体)	 誰もが参加できる活動や体験、鑑賞活動の拡充 どこでも気軽に文化芸術に触れられる環境の拡充 あらゆる市民に届く情報の収集・発信 	 すべての府中市民が、年齢・性別・国籍の違い、障害の有無などにかかわらず、身近に文化芸術に触れ、主体的に活動しています。 文化活動を通じて、市民同士の理解と絆が深まっています。 1年間のうちに、文化芸術活動を行った人の割合(%) 	多様性を尊重し合い、人と文化が響き合うまち ● 市民が見せる多様な表情を大切にします。 ● 困難な状況でも、文化芸術は人をつなぎ、支え合う力になります。 ● みんなで文化芸術が持つ創造性を広げていきます。 ● 文化芸術を通じて多様な主体が積極的に関わり合います。 ● 文化芸術の力で、幸福感を育む社会を築いていきます。 幸福度を感じる市民の割合(%) 文化芸術に触れることで、人生のうるおいが得られていると感じる市民の割合(%)【新設】	
【基本施策 2】はぐくむ 文化芸術の担い手育成とそれを 支える環境をはぐくむまちづく り	・文化・芸術や地域の伝統文化に参加・学習できる機会の拡充 ・子どものまわりの大人に対する協力・支援 ・学校等と連携したアウトリーチ活動の拡充 ・文化・芸術を担う様々な人材の掘り起こしと育成 ・市内外の府中市ゆかりの芸術家の発掘・育成、連携し た事業の実施	● 子どもたちの文化創造体験の拡充● 伝統芸能や市民の文化芸術活動の担い手育成● 地域の芸術家に対する支援	 ● 子どもたちが、幼い頃から多様な文化芸術に親しみ、心豊かな人生の可能性をつかみ取っています。 ● 今までにはぐくまれてきた伝統芸能や文化芸術が子どもたちに受け継がれるとともに、府中市ゆかりのアーティストが市内の様々な場で活躍し、市民と共に府中市の文化芸術を創造・継承しています。 文化芸術関係のクラブ活動、習い事等 		
			未満の子どもがいる市民の割合(%)	%) 【新設】	
【基本施策 3】つながる 市内外から人々が集い、文化芸 術を通した交流により幸福度が 高まるまちづくり	・多様な文化資源の魅力向上と活用	 文化資源を活用した府中の魅力発信 地域社会での連携及び交流機会の充実 多様性を尊重する共生社会の推進 	 ● 府中市の文化財、文化施設及び文化イベントに、市内外から多くの大が訪れ、府中の魅力が伝わっています。 ● 様々な人との交流により、多様な文化芸術や価値観を尊重し合い、自分らしく関わることができるまちになっています。 		
	・企業や学校、近隣自治体などとの連携促進 ・文化施設同士の連携の促進 ・多様な市民や分野がつながる仕組みづくりの検討			このほか、短期的なアウトプット指標として、事務事業評価の指標(P30)の数値を毎年	
	・外国人住民・訪日外国人客との文化交流 ・文化芸術を活かした社会的包摂の取組の展開		1年間のうちに、文化芸術関係のイベントに参観した市民の割合(%) 【新設】		
【基本施策 4】つむぐ 歴史と伝統により培われた府中 ならではの地域文化を活用・継 承し、新たな文化を創造するま ちづくり	・文化財の保存・整備 ・文化財の積極的な活用 ・学校と連携した子どもたちへの教育普及 ・新たに府中市に転入した市民に向けた文化財の紹介・ 普及 ・伝統文化の担い手育成 ・新たに転入した市民や外国人住民への普及・体験 ・文化資源のアーカイブ化の実施 ・美しい自然、歴史的景観の保全・整備による文化的な	文化財の保存・活用地域文化の継承と活性化府中ならではの地域文化を活用したにぎわいづくり	 ・ 投い歴史の中で占われた歴史的文化遺産について市民が学び、理解を深め、郷土を愛する心、誇りに思う心が育っています。 ・ 歴史や文化に改めて目を向けることで、保存・継承と同時に、歴史的文化遺産を活用した新たな試みが市民の中から創造されています。 	取得する。また、各事 業ごとに参加者の声等、 定性的なエピソードを 収集する。 >次期計画策定時に、市 民アンケートを実施し、 アウトカム及びインパ クトを測る。	
	・美しい自然、歴史的宗観の保主・登偏による文化的な 景観の整備 ・文化芸術によるにぎわいの拡充 ・パブリックアートの活用		市の文化財や伝統文化に親し みを感じる市民の割合(%)		